

1) 年齢階級別退院患者数 【2017年度】

2017年度<2017年4月1日～2018年3月31日退院患者>

年齢階級	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	27	46	103	142	248	315	443	842	984	337

<集計方法と定義>

- ◆対象患者は一般病棟に1回以上入院した、医科レセプトのみの患者です。
- ◆入院後24時間以内に死亡した患者さんは対象外です。
- ◆年齢は、集計対象となった日時点とします。
- ◆一般病棟の年齢階級別(10歳刻み)の患者数です。
- ◆年齢階級は90歳以上を1つの階級として設定しています。

【解説】

2017年度の退院患者人数は3487人で、平均年齢が69.7歳でした。
全体に占める割合として、0～50歳代は25.2%、60歳以上が74.7%となっています。

80歳代の患者さんが多く、昨年度と比較すると、100名増加しています。退院患者のうち、80歳以上の患者さんは38%となっており、2.5人に1人は80歳以上の高齢患者さんだということがわかります。
2015年度は70歳代の患者さんが多かったので、この2年で推移しています。

年齢階級別の主な疾患として、50歳以下は鼠径ヘルニア、虫垂炎、睡眠時無呼吸症候群、上肢(鎖骨・腕等)の骨折、足関節の骨折、腸炎、60歳以上では肺炎(誤嚥性を含む)、脳梗塞、大腸の悪性腫瘍、心不全、慢性腎不全、白内障、胸腰椎圧迫骨折、股関節大腿近位骨折、胆管結石、尿路感染症などがあります。

当院は、『安全と信頼に基づき、地域医療に貢献する』ことを理念に掲げ、地域の皆様に最適な医療を届ける病院を担っております。支援が必要な患者さんには入院前から多職種が連携し介入することにより、入院期間の短縮や、退院先の調整などきめ細かいケアを行っています。診療科間の連携・地域の医療機関との連携をはかり、当院における診療後もよりよい生活を継続できるよう取り組んでまいります。